令和8年度年間指導計画

教科	科目	単位数	学年	集団
芸術	音楽Ⅰ	2	1年	普通科・理数科

使用教科書	副教材等
ON!1（音楽之友社）	なし

1 科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 評価の観点とその趣旨

①	知識・技能	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②	思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3 評価方法

ア 取組みの観察　　イ 演奏、作品の内容
ウ ワークシート等への記述内容　　エ 提出物の内容　　※アからエを観点別に見取ったものを総合して評価する。

4 学習計画

月	題材	領域	項目	題材の学習目標	教材	評価の観点 ①	②	③
4	美しい日本語で歌詞に込めた思いを伝えるように歌おう	表現	歌唱	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりや言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解し、ふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方で歌うことができる。 ・音楽を形づくっている要素（強弱・旋律）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって歌唱表現を創意工夫することができる。	斉唱「校歌」 二部合唱「翼をください」 独唱「この道」	○	○	○
5	ギターの奏法を身につけて演奏しよう	表現	器楽	・楽曲にふさわしい奏法、身体の使い方で演奏することができる。	ギター「喜びの歌」	○		○
6	音の重なりの美しさを感じよう	表現	器楽	・様々な表現形態による器楽表現の特徴を理解し、特徴を生かして演奏することができる。 ・他者との調和を意識して演奏することができる。 ・音楽を形づくっている要素（音色・テクスチュア）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって器楽表現を創意工夫することができる。	リコーダー二重奏 「トリスタンの嘆き」 ギター二重奏 「エーデルワイス」	○	○	○
7	各楽章の構成を考えながら楽曲のよさや美しさを味わおう	鑑賞		・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解する。 ・音楽を形づくっている要素（形式）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	ベートーヴェン 交響曲第9番 「合唱付き」		○	
8	リズムの特徴を感じ取り、表現を工夫して創作しよう	表現	創作	・音型などの特徴及び構成上の特徴について表したいイメージと関わらせて理解する。 ・反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくることができる。 ・音楽を形づくっている要素（リズム・構成）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって創作表現を創意工夫することができる。	ヴォイス・アンサンブル 「野菜の気持ち」	○	○	○
9	日本の伝統音楽に触れ、そのよさや美しさを味わおう	鑑賞		・我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解する。 ・音楽を形づくっている要素（音色）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	長唄 「京鹿子娘道成寺」 箏曲「六段の調べ」		○	
10	箏の奏法を身に付け音色の特徴を生かして表現を工夫しよう	表現	器楽	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及び曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する。 ・曲にふさわしい箏の基本的な奏法、身体の使い方で演奏することができる。 ・音楽を形づくっている要素（音色）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって器楽表現を創意工夫することができる。	箏曲「さくら」 「あゝ人生に涙あり」	○	○	○
11	声や音楽の特徴を生かして謡おう	表現	歌唱	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。	沖縄民謡「谷茶前」	○		○
	世界の音楽のよさや美しさを感じ取ろう	鑑賞		・世界の諸民族の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解する。 ・音楽を形づくっている要素（音色）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながらについて考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	諸民族の音楽 「アリラン」 「アニー・ローリー」 「Caro mio ben」		○	
		表現	歌唱	・言葉の特性と曲種に応じた発声を理解し曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方で歌うことができる。		○		○
12	コードからメロディーをつくろう	表現	創作	・音の素材、音を連ねたり音を重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴を表したいイメージと関わらせて理解する。 ・音楽を形づくっている要素の働きを変化させ変奏や編曲し、旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などをつけた音楽をつくったりすることができる。 ・音楽を形づくっている要素（旋律・リズム）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって創作表現を創意工夫することができる。		○	○	○
	音楽表現の共通性や固有性について考えよう	鑑賞		・曲想と表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解する。 ・音楽を形づくっている要素（強弱、旋律）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	オペラ 「カルメン」		○	
1 2 3	お互いのパートをよく聴き合い、全体の響きを味わおう	表現	歌唱	・合唱の表現形態による歌唱表現の特徴を理解し、生かして歌うことができる。 ・他者との調和を意識して歌うことができる。 ・音楽を形づくっている要素（テクスチュア）や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって歌唱表現を創意工夫することができる。	混声四部合唱 「郷愁歌」 混声三部合唱 「ぜんぶ」	○	○	○